

福井市社会福祉協議会 ボランティアセンター

ボランティア情報

No.260 (2019年7月1日発行)

【発行】

社会福祉法人福井市社会福祉協議会

〒910-0018 福井市田原 1 丁目 13-6
フェニックス・プラザ 1 階

電話 (0776) 22-0022 ファックス 26-9109

ホームページ: <http://www.fukuic-shakyo.jp>

Eメール: mag@fukuic-shakyo.jp



福井市社会福祉協議会

検索

高校生・大学生がボランティアを体験！



◀卓球バレーの後は、普段の生活の様子など、いろいろ聞きました。

当会ボランティアセンターでは、2019 年 6 月 15 日（土）に、福井県卓球バレー協会と地域活動支援センターわいわい（福井県視覚障害者福祉協会）のご協力のもと、高校生等のボランティア体験講座を開催しました。

今回は、高校生と大学生 30 名が参加し、目の不自由な方の誘導方法を学んだ上で、玄関から講座会場までの誘導を実践しました。

続いて、卓球バレーのルールを学び、試合を楽しみました。前半は、目の不自由な方と高校生等の混合チーム同士で、後半は目の不自由な方チーム対高校生等チームで対戦し、会場は大いに盛り上がりました。

目の不自由な方との交流も卓球バレーも初めて体験する受講者がほとんどでしたが、「私たち以上に、いきいきして元気をもらった」「遠い存在だった障がい者スポーツが身近に感じた」「全く見えない人だけでなく、見えにくい人もいると知った」など、今回のような機会にまた参加したいとの声が多く聞かれました。

参加者の感想を 一部、紹介します

- 障がい者と交流すると思うだけで、不安に思ったりする人が多いと思います。私もその一人でした。しかし、この講座を受けてみて、本当にどこが不自由なのかなと思うくらい、いきいきとしてすごく楽しかったです。
- 目の不自由な方は言葉が全てで、自分が言ったことしか情報がないから、何をしゃべるにしても考えていかなければならないと分かりました。
- 視覚障がい者という一つのくくりではなく、その人の性格や視野の程度によって、言葉かけや誘導方法が全く異なることに気づきました。
- 卓球バレーは見かけ以上に難しいスポーツで、私たちは目が見えているにもかかわらず、ミスを連発してしまった。反対に、目の不自由な方たちはコミュニケーションをとってプレーしていたのを見て、コミュニケーションの大切さを知りました。